



# JASDAQ

2020年8月27日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 榊沢 徹  
(コード番号：6838 東証 JASDAQ)  
問合せ先 経営企画部 田中 竜太  
(TEL. 03-6435-6933)

## 第9回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ

当社は、2019年1月25日付「第三者割当による第9回新株予約権の発行に関するお知らせ」(以下「第9回発行お知らせ」といいます。)にて開示いたしました、第三者割当による第9回新株予約権(以下「第9回新株予約権」といいます。)の発行及びその行使により調達した資金の使途について、下記のとおり変更(以下「本件変更」といいます。)することといたしましたので、お知らせします。

### 1. 変更の理由・経緯

第9回新株予約権は、第9回発行お知らせにおいて開示しましたとおり、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の主たる業務である再生可能エネルギー事業のうち、風力発電事業において、①当社が小型風力発電所複数基毎に、原則として同発電所事業を運営する子会社(以下「SPC」といいます。)1社を設立すること、②SPCが小型風力発電所事業に関する投資総額のうち20%から40%までの範囲で出資による資金を調達し、投資総額の残部をリース会社等金融機関からの資金の借入により調達すること、③SPCがAURA-Green Energy 株式会社が保有する風力発電の売電の権利を購入して小型風力発電所を建設し売電事業を行うことにより、当社として収益性のある小型風力発電事業を行うことができるものと判断し、そのSPCに対する出資金を資金使途として発行したものです。

本日(8月27日時点)現在までに、第9回新株予約権の発行数10,600個のうち9,680個が行使され、609,254,000円(払込金額総額3,286,000円+9,680個分の行使605,906,590円/発行諸費用含めず。)を調達しているところですが、小型風力発電所の開発において、権利取得時に採用を想定していた小型風力発電機器メーカー内部の紛争により、購入手続きが開始前に保留となり、紛争の解決が長引くことが想定されたため、権利取得した全ての発電所で当社が他社メーカーへの機種変更を行うことを2019年9月中旬に判断しました。このような機種変更を行ったことにより、現時点で機器の発注が出来ておらず、それに伴って小型風力発電所の建設工事に一部の遅延が生じております。このような状況の中で、調達した資金を有効的に

活用すべく、発行当時想定していた金額のうち、

110,000,000円を「当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資6,294,600円と運転資金103,705,400円に使用」に充当しております。岐阜県各務原市の太陽光発電所は、当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが販売用に建設したものであり、既に完工し、売却が完了しております。

また、90,123,720円を「北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワードットコム株式会社（当社関連会社となります。）の株式及び債権の買取りのための資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取45,000,000円と風況調査代及び系統連系費用45,123,720円に使用」に充当しております。大型風力発電事業の取り組みに関しては、2019年5月27日付にPR情報として「大型風力発電事業の取り組みに関するお知らせ」にて開示いたしました通り、小型風力発電事業同様に事業パートナーである AURA-Green Energy 株式会社と共同で、北海道根室市において1.984MWの発電所を2022年9月頃に連系すべく取り組んでおります。2020年4月より本格的に風況調査を開始しておりますが、風況もよく高いパフォーマンスを得られると見込んでおります。

さらに、83,000,000円を「当社の連結子会社が保有する長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約500kwの増設に係る金融機関にリース料を支払うため資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、リース料33,000,000円と運転資金50,000,000円に使用」に充当しております。長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の増設の取り組みに関しては、2019年12月5日付にPR情報として「長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の増設に関するお知らせ」にて開示いたしました通り、固定買取価格36円で発電規模を拡大しており、既に稼働しております。

## 2. 変更の内容

上記記載の理由により、第9回発行お知らせにおいて開示いたしました資金使途「小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金」659,246,000円のうち、110,000,000円を「当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資6,294,600円と運転資金103,705,400円に使用」に、90,123,720円を「北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワードットコム株式会社（当社関連会社となります。）の株式及び債権の買取りのための資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取45,000,000円と風況調査代及び系統連系費用45,123,720円に使用」に、83,000,000円を「当社の連結子会社が保有する長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約500kwの増設に係る金融機関にリース料を支払うため資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、リース料33,000,000円と運転資金50,000,000円に使用」に変更いたします。なお、変更部分には下線を付して表示しております。

変更前

具体的な用途	金額	支出予定時期
<p>小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金（当社子会社は、出資金を小型風力発電所の権利の取得及び建設に充当します。）</p> <p>なお、当社子会社は、原則として小型風力発電所複数基毎に1社設立する予定であり、現時点では、小型風力発電所を新規に91基～183基を見込んでおります。</p>	659,246,000円	2019年2月19日から 2022年2月末まで
合計	659,246,000円	—

変更後

具体的な用途	金額	支出（予定）時期
<p>① 小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金（当社子会社は、出資金を小型風力発電所の権利の取得及び建設に充当します。）</p> <p>なお、当社子会社は、原則として小型風力発電所複数基毎に1社設立する予定であり、現時点では、小型風力発電所を新規に<u>52基～104基</u>を見込んでおります。</p>	<u>376,122,280円</u>	<u>2020年8月31日から</u> <u>2022年2月末まで</u>
<p>② <u>当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資 6,294,600円と運転資金 103,705,400円に使用</u></p>	<u>110,000,000円</u>	<u>2019年8月29日から</u> <u>2020年1月27日まで</u>
<p>③ <u>北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワードットコム株式会社（当社関連会社となります。）の株式及び債権の AURA-Green Energy 株式会社からの買取りのための資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取 45,000,000円と風況調査代及び系統</u></p>	<u>90,123,720円</u>	<u>2019年11月15日から</u> <u>2020年5月25日まで</u>

具体的な用途	金額	支出（予定）時期
連系費用 45,123,720 円に使用		
④ 当社の連結子会社である株式会社GP エナジー2 が保有する、長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約 500kw の増設に係る金融機関にリース料を支払うための資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、リース料 33,000,000 円と運転資金 50,000,000 円に使用	83,000,000 円	2020 年 1 月 27 日から 2020 年 4 月 27 日まで
合計	659,246,000 円	—

現在までに調達した資金は 609,254,000 円であり、その充当状況は以下でございます。

資金充当状況

令和 2 年 8 月 27 日現在

具体的な用途	金額
① 小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金（当社子会社は、出資金を小型風力発電所の権利の取得及び建設に充当します。） なお、当社子会社は、原則として小型風力発電所複数基毎に 1 社設立する予定であり、現時点では、小型風力発電所を新規に 65 基～131 基を見込んでおります。	— 円
② 当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資 6,294,600 円と運転資金 103,705,400 円に使用	110,000,000 円
③ 北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワードットコム株式会社（当社関連会社となります。）の株式及び債権の AURA-Green Energy 株式会社からの買取りのための資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取 45,000,000 円と風況調査代及び系統連系費用 45,123,720 円に使用	90,123,720 円
④ 当社の連結子会社である株式会社GP エナジー2 が保有する、長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約 500kw の増設に係る金融機関にリース料を支払うための資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、	83,000,000 円

具体的な用途	金額
リース料 33,000,000 円と運転資金 50,000,000 円に使用	
未充当	326,130,280 円
合計	609,254,000 円

①小型風力発電所の開発において、建設工事の遅延の影響から、現時点において当社子会社（GP エナジーD）が唯一支出している発電所 ID の取得資金（24,750,000 円）は、第 9 回新株予約権による調達をした当社からの出資ではなく、調達とは直接関係のない当社完全子会社（GP エナジーB）からの借入金により充当しております。今後、この借入金は、当社が GP エナジーD 社に第 9 回新株予約権による調達を充当（出資）することで返済します。その他②から④の具体的な用途につきましては、既に全額を充当済でございます。

### 3. 今後の見通し

本件変更による当社 2021 年 3 月期連結業績に与える影響はありません。

以上